

<報道関係者各位>

すみだ北齋美術館 企画展のご案内

開催期間 2020年9月15日(火)～11月8日(日)

新収蔵品展

— 学芸員が選んだおすすめ 50 —

すみだ北齋美術館では、2020年9月15日(火)から11月8日(日)まで、「新収蔵品展 — 学芸員が選んだおすすめ 50 —」を開催致します。墨田区では1989年以来、北齋及び門人に関わる資料を幅広く収集してきました。その内容は北齋を代表する作品である「富嶽三十六景」シリーズの版画から当館でしか所蔵していない希少な肉筆画まで多岐にわたります。本展では、2016年の当館開館以降に新たに収集した肉筆画、版画、版本の中から**当館学芸員が選んだ50点の作品を展示**し、開館以来の収集の成果の一端をご紹介します。展示作品の多くが初公開となります。北齋の魅力や影響力を改めて実感していただく機会となれば幸いです。北齋及び門人たちによる名作の数々をお楽しみください。

※本企画展は3階企画展示室のみとなります。

※「新収蔵品展 — 学芸員が選んだおすすめ 50 —」では、プレス内覧会は行いません。取材をご希望の方は広報担当まで事前にお申し込みください。

主な展示作品

本展では、すみだ北齋美術館に足をお運びくださるお客様に、開館以来新しく加わった、肉筆画、版画、版本といった多様な作品の中から北齋や門人の作品を分類ごとにバランス良くご覧いただけるよう、合計50点を選び、前後期に分けて展示します。

<< 版画 >> 「富嶽三十六景」の三役 「神奈川冲浪裏」(前期)、「凱風快晴」(後期)、「山下白雨」(後期)

北齋の代表的な作品である「富嶽三十六景」。その中でも特に優れた作品とされることから三役とも呼ばれ、北齋の代表作として名高い「神奈川冲浪裏」、「凱風快晴」、「山下白雨」は本展でも必見です。



葛飾北齋「富嶽三十六景」より「神奈川冲浪裏」(前期)、「凱風快晴」(後期)、「山下白雨」(後期)、いずれも吉野石膏コレクション、すみだ北齋美術館寄託

本プレスリリースの目次

■ 主な展示作品	P.1-3	■ 開催概要	P.3-4
■ 初のオフィシャルブック発売のお知らせ	P.4	■ ご来館のお客様へご協力をお願い	P.5
■ 広報用作品画像請求用紙	P.6	■ 巡回展のお知らせ、美術館概要	P.7



葛飾北斎「百人一首うはかゑとき 安倍仲麿」(前期) すみだ北斎美術館蔵 (右は部分)

「百人一首うはかゑとき」は、乳母が子どもに百人一首の和歌を一首ずつ絵で解説するために描かれた大判錦絵シリーズです。本図は、安倍仲麻呂(*1)が異国の地・唐で月をみたときに、故郷を思い詠んだ歌「天の原ふりさけ見れば春日なる三笠の山に出でし月かも」を絵解きしています。

仲麻呂(画像中央)は高台に登って遠く月を眺めています。月は水面に映る影のみで表現され、故郷を懐かしむ仲麻呂の心情がうかがえます。

*1 安倍仲麻呂: 奈良時代の遣唐留学生で、唐の皇帝玄宗に仕えた人物。海難に遭い日本へ帰国できず、唐の地で没しました。

『十嘉栄利花』は、山賊の鬼柳盗太によって家族を殺害された志津子らの仇討の物語が綴られた読本(*2)です。挿絵は、北斎の門人・北岱(*3)が手掛けました。

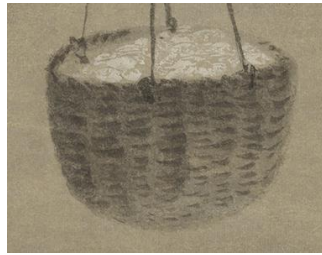
本図は、前後のページの文章には明記されていない、志津子が鬼柳盗太に復讐の執念を募らせる心情を描写していると思われます。全体の半分に巨大な顔を配置した画面構成に加え、髪の毛や着物の柄の細かな表現にもご注目ください。



葛飾北斎『十嘉栄利花』(通期) すみだ北斎美術館所蔵

*2 読本: 江戸時代中期以降、幕末まで刊行されたの小説の一種です。文章を読み進めると、絵師による挿絵のページが現れます。

*3 葛飾北岱(ほくたい): 生没年未詳。北斎の門人の1人で、狂歌師としても活動した人物です。



葛飾北斎「蛤売り図」(後期) すみだ北斎美術館蔵(左は部分図)

月明かりのもと佇む棒手振が描かれています。作品の上部には、狂歌師によって以下の賛が書き込まれています。

「蛸子かと思ひの外の蛤は げにぐりはまに思ひつき影」

蛸かと思ったら蛤で、まさに「ぐりはま」だと歌われています。「ぐりはま」とは、物事の手順や結果が食い違うという意味の、蛤の「はま」と「ぐり」を逆さにした言葉です。本作は当初、表具や付属品の作品名を記す部分に「蛸売」と書かれていたため「蛸売り図」と考えられていました。昨年、作品を改めて調査したところ、貝殻が胡粉(*2)で表されていることから、かごの中の貝は蛤(はまぐり)であるとわかりました。

*4 胡粉(ごふん): 貝殻(特に牡蠣の殻)を焼いて粉末にした、白色の顔料。

開催概要

展覧会名	新収蔵品展 — 学芸員が選んだおすすめ 50 —
会期	2020年9月15日(火)～11月8日(日) ※前後期で一部展示替えを実施 前期9月15日(火)～10月11日(日) 後期10月13日(火)～11月8日(日)
休館日	毎週月曜日 ※開館: 9月21日(月・祝)、休館: 9月23日(水)
開館時間	9:30～17:30 (入館は17:00まで)
主催	墨田区・すみだ北斎美術館
お問い合わせ	03-6658-8936 (9:30～17:30 ※休館日を除く)
企画展公式サイト	https://hokusai-museum.jp/shinshuzo/

観覧料	一般	高校生 大学生	65歳以上	中学生	障がい者	小学生以下
個人	1,000円	700円	700円	300円	300円	無料

※団体でのご来館は、当面の間、受付を行いません。

※本展のチケットは、会期中観覧日当日に限り、AURORA(常設展示室)をはじめ全ての展示をご覧になれます。

▶【開催中】常設展プラス「隅田川両岸景色図巻(複製画)と北斎漫画」

北斎の肉筆画の中で最長とされている「隅田川両岸景色図巻」。全長約 7m に及ぶ本作の複製画を展示、その全貌を実物大でご覧いただけます。『北斎漫画』立ち読みコーナーでは、北斎の代表作のひとつ『北斎漫画』全 15 冊の実物大高精細レプリカを、手に取って熟覧いただけます。(ご入退室時には、展示室入口に設置している消毒液で手指の消毒をお願いしています)

※観覧料は「新収蔵品展 — 学芸員が選んだおすすめ 50 —」ご観覧日当日に限り無料。

会期: 11月8日(日)まで開催中

会場: 4F 企画展示室

YouTube で「新収蔵品展」見どころ作品の解説を予定！！

「新収蔵品展 — 学芸員が選んだおすすめ 50 —」開催にともない、本展を企画した学芸員が、展示中の作品の魅力を YouTube でご紹介します。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、美術館へ出かけることが難しい方にも YouTube を通じて新たな作品に出会い、少しでもおうちで美術館に来たような感覚をお楽しみいただけるよう、作品のポイントや簡単な浮世絵についての用語などをわかりやすくお伝えします。(会期中 4 回を予定。)

☑ すみだ北斎美術館公式 YouTube チャンネル

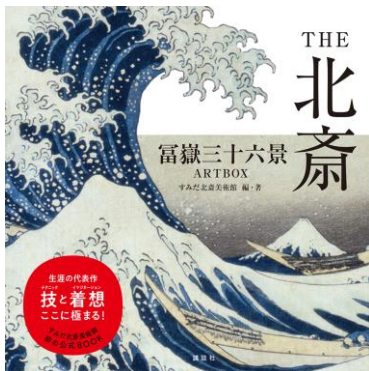
<https://www.youtube.com/channel/UC2ywKxcxhYowjfoAk2LflRg>

すみだ北斎美術館 初のオフィシャルブック

『THE 北斎 富嶽三十六景 ARTBOX』(講談社) 発売中！

すみだ北斎美術館は所蔵する「富嶽三十六景」全 46 作品を網羅した初のオフィシャルブックを、7 月 16 日(木)に講談社から発行しました。当初、今夏開催を予定していた企画展「THE 北斎 — 富嶽三十六景と幻の絵巻 —」(2021 年夏に開催延期)に合わせて準備をしておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため展覧会が延期となる中、書籍を通してひとりでも多くの方に当館の「富嶽三十六景」をお手元に届けるべく発行に至りました。作品の色の美しさをお手元でご覧いただくとともに、学芸による構図や表現についての詳細な解説で作品のポイントをより深く理解いただけます。どうぞおうちで北斎の不朽の名作をお楽しみください。

「空間を構成する」「○×△で作られた世界」「驚異の自然」「形のないものを捉える」「イリュージョンを仕掛ける」「超絶表現」という 6 つの章に分け、さまざまな切り口で、北斎の生涯の代表作にして最高傑作「富嶽三十六景」の魅力を紹介します。天才の技術と着想が極まった全 46 図を堪能できる一冊です。



『THE 北斎 富嶽三十六景 ARTBOX』

すみだ北斎美術館(奥田敦子)編著

出版社: 講談社

発行日: 2020 年 7 月 16 日

定価: 2,200 円(税別)

単行本(ソフトカバー): 196 ページ

サイズ: 15 x 15 x 1.8 cm



当館所蔵の「富嶽三十六景」全 46 図がオールカラーで全作品に解説付き！細かな描写にもご注目ください！

ご来館のお客様へ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止および予防にあたってご協力をお願い

1. ご来館時に検温を実施いたします。咳・のどの痛み・発熱・倦怠感などの症状があるお客様はご入館をお控えください。
2. 館内入口にアルコール消毒液を設置しております。ご入館時には消毒液にて手指の消毒をお願いします。
3. 展示室内の展示ケースにはお手を触れないでください。
4. 展示室内での会話はお控えください。
5. 4F の AURORA(常設展示室)にはタッチパネル、常設展プラスには手にとってご覧いただける版の展示があります。ご観覧前/後には消毒液にて手指の消毒をお願いします。
6. マスクの着用にご協力ください。
7. 咳やくしゃみをされる際には「咳エチケット」(マスク、ハンカチ、ティッシュなどで口をしっかり覆う)にご協力ください。
8. エレベーターの定員を2名に制限しております。ご家族や介助者の方は、同時にご利用いただけます。

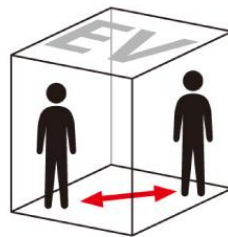
お客様へご協力をお願い Notice: About infection prevention measures of COVID-19 Request for cooperation



エレベーターご利用の際のお願い Requests when using the elevator

About infection prevention measures of COVID-19

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から当面の間、
エレベーターの定員を2名に制限しております。
The elevator is limited to 2 people.



但し、ご家族や介助者の方は、一緒にご利用いただけます。
However, families and caregivers can use it together.

展示室内でのお願い Request in the Exhibition room

About infection prevention measures of COVID-19

他のお客様と距離を空けて
ご鑑賞ください

Please keep a distance 2m



展示室内での会話は
お控えください

Please refrain from talking



展示室内の人数が密とならないよう
入場制限を行います

Admission restrictions



当館の対応

1. お客様がご利用になるスペースは、消毒作業を実施済みです。展示ケース等の一部には水分やアルコールが使えないため乾拭きのみ実施しております。
2. お客様がご利用になる手摺り、エレベーター操作ボタン、洗面所の取手/カラン等は1日数回の消毒作業を実施しています。
3. お客様と接する当館スタッフはマスクを着用しております。
4. 受付・ミュージアムショップにウィルス飛沫予防のパネルを設置しております。
5. 良好な館内環境を保つため、ご入館の制限やお声掛けを行う場合があります。
6. MARUGEN100(講座室) 及び図書室は、当面のあいだ休室いたします。
7. 新規の団体ご予約、MARUGEN100(講座室)ご利用受付は当面のあいだ中止いたします。

ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

広報用 作品画像請求用紙

貸出をご希望の作品画像の番号にチェックの上、ページ下部の広報担当までお申込みください。

1. 葛飾北斎「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」(前期)吉野石膏コレクション、すみだ北斎美術館寄託 ★

2. 葛飾北斎「富嶽三十六景 凱風快晴」(後期)吉野石膏コレクション、すみだ北斎美術館寄託 ★

3. 葛飾北斎「富嶽三十六景 山下白雨」(後期)吉野石膏コレクション、すみだ北斎美術館寄託 ★

4. 葛飾北斎「百人一首うはかゑとき 安倍仲麿」(前期)すみだ北斎美術館蔵

5. 葛飾北斎『十嘉栄利花』(通期)すみだ北斎美術館蔵

6. 葛飾北斎「蛤売り図」(後期)すみだ北斎美術館蔵

※画像を使用の際には、上記の作品クレジット(作家名・作品名・展示期間・所蔵先)が必須となります。
※「★」マークのついた富嶽三十六景の三役は、二点以上の作品画像を紹介いただける場合のみご使用ください。
※画像は記事などで本展をご紹介いただける場合に限りご利用いただけます。
本展の広報に関わらない出版物や映像への使用・転載、商業利用はできません。
※画像の複製・貸与・頒布・配布・販売などはお断りいたします。
※ご使用後は、画像データの破棄をお願いいたします。
※展示作品は都合により変更することがあります。

貴社名 /
貴媒体名 /
部署名 / (役職名)
ご芳名 /
ご連絡先 TEL/ FAX/ E-mail/
ご掲載/放送予定 月 日
備考 / ※ご要望などございましたらご記入下さい。



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館

次回企画展(巡回展)のお知らせ

巡回展名	GIGA・MANGA 江戸戯画から近代漫画へ
会期	2020年11月25日(水)~2021年1月24日(日)※一部展示替えを実施予定
休館日	毎週月曜日、年末年始(12月29日~1月1日)
開館時間	9:30~17:30(入館は17:00まで)
主催	墨田区・すみだ北斎美術館、毎日新聞社
監修	清水勲(漫画・諷刺画研究家、元京都国際マンガミュージアム研究顧問、元帝京平成大学教授)
協力	京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム
お問い合わせ	03-6658-8936 (9:30~17:30 ※休館日を除く)

いまや世界共通言語となった日本の漫画=MANGA。その起源には、様々な説があります。本展監修者で漫画・諷刺画研究家の清水勲氏は、江戸時代の諷刺表現である戯画を、現代日本で認識されている漫画的な表現の出発点としています。幕府の改革、幕末の動乱、近代化、社会の矛盾や事件、庶民の日常など、浮世絵の「戯画」は様々な事柄を時にユニークに、時に辛らつに伝えました。そして明治になり、新聞や雑誌など近代的ジャーナリズム媒体の誕生と共に「戯画」は挿絵へ、そして漫画へと姿を変え、漫画雑誌が刊行されるに至り、大衆が楽しめる新しい絵画表現として確立しました。本展では、江戸時代の浮世絵版画から明治・大正時代の諷刺漫画雑誌、昭和戦中期の子ども漫画までの、日本の漫画の変遷を展覧します。

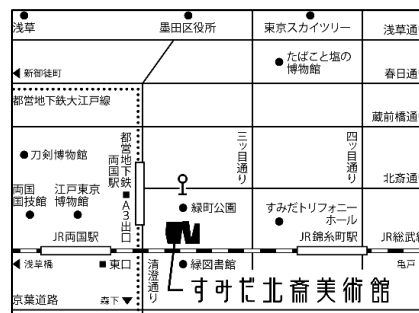
美術館概要

美術館名	すみだ北斎美術館 (英: The Sumida Hokusai Museum)
開館時間	9:30~17:30(入館は17:00まで)
休館日	毎週月曜日(月曜が祝日または振替休日の場合はその翌平日)、年末年始(12月29日~1月1日)
所在地	〒130-0014 東京都墨田区亀沢 2-7-2
お問い合わせ	03-6658-8936 (9:30~17:30 ※休館日を除く)
公式サイト	https://hokusai-museum.jp/
Twitter	https://twitter.com/HokusaiMuseum/
Facebook	https://www.facebook.com/THE.SUMIDA.HOKUSAI.MUSEUM/
アクセス	都営地下鉄大江戸線「両国駅」A3出口より徒歩5分 JR総武線「両国駅」東口より徒歩9分 JR総武線「錦糸町駅」北口より墨田区内循環バスで5分

※ご来館にあたっては、美術館公式ホームページで最新の開館予定をご確認ください。



撮影:尾鷲陽介



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館